

みどりの風

令和3年4月16日（金） 発行人：校長 角田 亮明

緑の誓い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強をします
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

育英会総会でお伝えしたかったこと

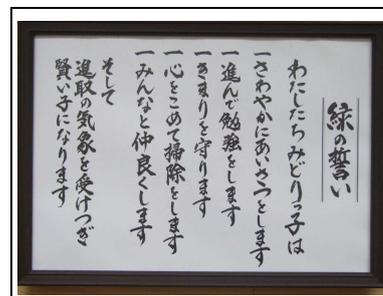
市内で新型コロナウイルス感染者が出たことを受け、急遽、本日開催予定だった授業参観・懇談会を中止しましたこと、改めて、お詫び申し上げます。また、育英会総会も書面での協議となりました。野崎会長様以下役員を退かれる皆様方、子ども達の健やかな成長を期し、コロナ禍にも負けずに会をリードしてくださり本当にありがとうございました。

さて、育英会総会で校長として保護者の皆様にお伝えしたかったことを記します。学校

経営の中核は、学校便りにも毎回記載している「**緑の誓い**」の実現を図ることです。緑の誓いの実現を通して、**主体性、自他の敬愛、自律・耐性**の3つの資質・能力を育成することです。

しかし、この緑の誓いは、学校だけでの取組では実現できません。ご家庭でも同じように指導・支援していただく必要があるのです。どうか、家庭生活の中で徹底させるべきことをブレずに言い続けてほしいと心から願います。子ども達は定期的の実現状況を4段階（4が最も高い評価）で自己評価していますが、全校児童の自己評価平均が3.7を超えることを目標にしています。なかなか高い目標ですが、いつでもどこでもできるというレベルまで引き上げたいと思っています。

緑の誓いを実現していく土台となるのは「**望ましい生活リズム**」の定着です。特に1日の始まりである朝のリズムを改善したいと考えています。**7時30分到着を目指して余裕を持って登校し、軽く運動してしっかり目と体を覚ます。そして、朝の活動に入っていく**流れを確立したいと思っています。どうか、ご協力とご支援、よろしく願います。



「歩いて登校」することの意味

もう一つ、大事なお願いがあります。それは「**歩いて登校**」の推奨です。毎朝、校門で子ども達を迎えていると、8時ギリギリや8時過ぎてから登校して来る子どもが多いことに気がきます。そして、その多くは「車で送ってもらう」子ども達です。中には、遅刻しそうだからという理由ではなく、車で登校することが常態化している子どももいます。まだ目も体もしっかり覚めておらず、歩くのもままならない様子です。これでは学習内容がしっかり入らないはずで、学ぶ構えができていないのです。

早起きして、朝ご飯をしっかり食べる。そして、余裕を持って家を出て歩いて登校する。そうすることで体がしっかりと目覚め、学ぶ構えができて上がります。また、歩くことで身体が鍛えられるとともに、心の強さも育っていきます。何より、人に頼らず自分で行動しようとする主体性と、きつくてもやり遂げようとする耐性が育ちます。どうか、安易に車で連れて来ることをせず、極力、歩いて登校できるよう支えてください。

